

令和5年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

岐南町地域公共交通活性化協議会 (岐南町)

令和3年12月1日設置

令和4年6月 岐南町地域公共交通計画策定
(計画期間：令和4年6月～令和9年3月)

令和4年6月30日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

令和6年1月〇〇日 令和5年度評価結果送付

1.【Plan】協議会等が目指す地域公共交通の姿

地域概況

町内の公共交通は、名古屋鉄道（名鉄）、岐阜乗合自動車（岐阜バス）、タクシー、町コミュニティバス、町コミュニティタクシー（デマンド型）で構成。

- ▶人口：26,228人（令和5年10月1日現在）
- ▶鉄道：名鉄名古屋本線
- ▶地域間幹線系統：岐阜バス松籟加納線
- ▶フィーダー系統：町コミュニティバス

岐南町地域公共交通計画

基本方針

住み続けられるまちを目指して地域で育てる公共交通

目標①

多様なニーズに対応した公共交通ネットワークの構築

目標②

公共交通の利用拡大

目標③

持続可能な公共交通体系の実現

主要な施策

- ▶町コミュニティバスの運行（令和4年9月～）
- ▶町コミュニティタクシーの停留所増設
- ▶公共交通マップの発行
- ▶おためし乗車会の開催
- ▶利用者アンケートの実施



分類	役割	対象路線
幹線路線 	周辺都市との広域的な都市間移動を促進し、周辺自治体との連携や交流の活性化を図ります	名鉄名古屋本線 岐阜バス岐南町線 松籟加納線
準幹線路線 	周辺自治体との連携や交流の活性化を図ります	岐阜バス笠松川島線
生活交通路線 	町内の暮らしのニーズに対応するとともに、町内各地から鉄道駅や幹線路線バス停留所を連絡し、日常生活における移動を支援します	岐南町コミュニティバス（地域内フィーダー系統） 岐南町コミュニティタクシー
個別輸送 	鉄道・バス・コミュニティタクシーではカバーできない個別需要に対応します	タクシー 福祉輸送
交通結節点 	各交通手段の接続を強化し、多様なニーズに対応した公共交通ネットワークの構築を図ります	岐南駅、笠松駅、岐南町役場、岐南町三宅



I. 公共交通ネットワークの再編

事業Ⅰ-1 コミュニティバスの運行（フィーダー系統）

買い物や通院等の暮らしのニーズに対応し、通勤・通学手段としても利用可能なコミュニティバスの運行。

事業Ⅰ-2 コミュニティタクシーのサービス拡充

コミュニティバスを補完するため、停留所を22増設し、隣接する町の地域医療支援病院にも区域を広げた。

事業Ⅰ-3 交通結節点の整備・改善

鉄道やバスと接続するため、交通結節点に停留所を設置した。
駅前スペースの安全性・利便性を高めるため、再整備を実施した。

事業Ⅰ-4 商業施設・医療機関との連携による待合環境の改善

交通結節点の停留所で、建築物（コンビニ）と一体となったバス待合いが施工された。

II. 公共交通に関する情報の提供

事業Ⅱ-1 公共交通マップの発行

公共交通マップを1万部作成し、事業周知のため全世帯に配布した（町ホームページでも対応）。
マップには交通事業者のサービスも掲載。

事業Ⅱ-2 経路検索サイトへの対応

交通事業者とともに対応し、複数のサイトで経路検索が可能となった。

事業Ⅱ-3 バスロケーションシステムの継続

岐阜バス路線と同様のシステムを運行当初から導入した。



III. 利用しやすい運賃体系の構築

事業Ⅲ-1 高齢者等運転免許証自主返納支援事業の継続・拡充

運転免許証を自主返納し、コミュニティタクシー無料乗車証を使用した者は453人、コミュニティバスを無料で利用した者は39人（4カ月）であった。

IV. 公共交通への愛着の醸成・地域との連携

事業IV-1 おためし乗車会の開催

令和5年9月1日から8日までの7日間、コミュニティバス運賃無料デーを実施。
また、令和5年1月17日には、老人クラブの会員を対象にコミバス乗り方教室を開催。



事業IV-2 利用者アンケートの実施

コミュニティバス

種類	目的	方法	対象者	調査日	回答状況等
利用者向け	コミュニティバスの利用実態や満足度を把握するため	コミバス車内で町職員が対面調査 ※無記名	コミバス利用中の者	令和5年7月13日(木/雨)左回り 令和5年7月15日(土/曇)左回り 令和5年7月21日(金/晴)右回り 令和5年9月7日(木/晴)右回り 令和5年9月16日(土/晴)右回り 令和5年9月21日(木/雨)左回り	31件(左回り)+51件(右回り) =82件
高齢者向け	高齢者の生活実態やコミュニティバスの利用状況・満足度を把握するため	老人クラブが用紙を配布し、回答は郵送で提出 ※無記名	町内に在住する60歳以上の高齢者	令和5年7月10日(用紙配布日)から 令和5年8月1日(提出期限)まで	97件(回答数)÷110件(配布数) =88.18%(回答率) 【意見等】 移動手段はマイカーだが、運転免許証を自主返納したら利用したい。運行本数が少なく、帰りに困る。停留所が近くにない。目的の停留所までへの乗車時間が長い。

コミュニティタクシー

種類	目的	方法	対象者	調査日	回答状況
利用者向け	コミュニティタクシーの利用実態や満足度を把握するため	コミタク車内で利用者が記入 ※無記名	コミタク利用中の者	令和5年11月27日から 令和5年12月8日まで	35件

3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

目標	評価指標・目標値（2025年度）		達成状況			考察
			1年目	2年目	3年目	
多様なニーズに対応した公共交通ネットワークの構築 (満足していると回答した人の割合 = 「良い、やや良い、普通」と答えた利用者の割合)	年間利用者数（人/年） ※10月～9月	コミュニティバス 29,200人/年	8,599	—	—	顕著な高齢化の進展を考慮し高く設定した目標値であるが、常に前年度を上回る達成状況を目指す。
		コミュニティタクシー 1,700人/年	1,846	—	—	隣接する町の地域医療支援病院にも区域を広げたことにより目標を達成した。
	公共交通の利用者満足度（%）	コミュニティバス 現況値から10ポイント以上増加 ※現況値81.7%（2023）	現況値が存在しない	—	—	本年度実施した利用者アンケートの結果を現況値とし、次年度より評価を行う。
		コミュニティタクシー 現況値から10ポイント以上増加 ※現況値97.1%（2023）	現況値が存在しない	—	—	
公共交通の利用拡大	人口1人あたりの年間利用回数（回/年） ※10月～9月	コミュニティバス 1回/年以上	0.33	—	—	顕著な高齢化の進展を考慮し高く設定した目標値であるが、常に前年度を上回る達成状況を目指す。
		コミュニティタクシー 0.06回/年以上	0.07	—	—	隣接する町の地域医療支援病院にも区域を広げたことにより目標を達成した。
持続可能な公共交通体系の実現	利用者1人あたりの運行経費（円/人） ※10月～9月	コミュニティバス 942円/人以下	3,095	—	—	顕著な高齢化の進展を考慮し高く設定した目標値であるが、常に前年度を上回る達成状況を目指す。
		コミュニティタクシー 880円/人以下	1,009	—	—	利用者数は増えたものの、コロナの影響で平均乗車密度が低く、目標を達成しなかった。

【コミュニティバス】

計画目標の現在の到達点	今後の取組方針
年間利用者数は現状では未達成であるが、利用者数の増加傾向が続いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用目的で最も多い「通勤・通学」のニーズにこたえるため「定期券導入」を進める。 ・事業は広く知られているので、コミュニティバスへの愛着の醸成や地域との連携を図る事業（小学生乗り方教室、コミバスこども美術館など）を実施する。 ・前年度を上回る達成状況を目指す。
運行を始め1年が経過したが、アンケート調査の結果、利用者満足度は高い。	未利用者を対象にした調査も実施し、公共交通のニーズの把握に努める。
利用者1人あたりの運行経費は現状では未達成であるが、利用者数の増加傾向が続いている。	利用者数の増加により運賃収入は増えると見込まれるが、それ以外の収入（広告収入や事業所協賛金）の確保にも努める。

【コミュニティタクシー】

計画目標の現在の到達点	今後の取組方針
年間利用者数は早くも達成したが、利用者1人あたりの運行経費は現状では未達成である。	コロナによる乗り合いタクシーの利用控えが減り、民間事業者が申し込む停留所設置事業も継続することから、目標年度の令和7年度には目標値を達成する見込み。

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回			
前々回			

※初回の評価（一次）のため、該当無し。

6.計画・評価の推進体制

【計画期間中のスケジュール】

実施項目	2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		2026年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
施策実施の確認 実施内容の評価 プロセス評価	●事業計画 事業実施		●事業計画		●事業計画		●事業計画		●事業計画	
実施状況の確認・評価 指標の評価	実施状況の確認・評価		反映		反映		反映		反映	
目標の達成状況の評価 指標の評価	評価指標のチェック								最終年の目標達成状況評価	
課題共有	実施の課題共有									
改善と反映	次年度実施の改善と反映									

【年間スケジュール】

内容	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域公共交通活性化協議会				①							②		
主な行事			確保維持改善事業(補助申請)					次年度予算要求			第三者評価委員会(運輸局)		
主な調査等				利用者アンケート									
実施事項		前年度の事業評価に基づく改善と反映		次年度事業計画の検討					実施状況の確認・評価 今年度事業の検証			課題共有改善検討	

【協議会の開催状況】

- 令和3年度
第1回会議 3月29日
＜協議事項＞
(1) 新コミュニティバス、コミュニティタクシーの運行計画について
(2) 岐南町地域公共交通計画について
- 令和4年度
第1回会議(書面) 6月24日
＜協議事項＞
(1) 岐南町地域公共交通計画について
(2) 地域内フィーダー系統確保維持計画について
第2回会議 7月7日
＜協議事項＞
(1) コミュニティバスの運行について
(2) コミュニティタクシー停留所の拡充について
- 令和5年度
第1回会議(書面) 6月26日
＜協議事項＞
(1) 地域公共交通確保維持事業に係る計画について
(2) 令和4年度事業報告について
(3) 令和5年度事業計画について
第2回会議 1月11日
＜協議事項＞
(1) コミュニティバス・タクシー事業の評価について

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月11日

協議会名: 岐南町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
岐南町地域公共交通活性化協議会	岐南町コミュニティバス(左回り)	初回評価のため該当無し	B 目標年度(令和7年度)に向けて計画した事業を順次実施している。	B ●年間利用者数 目標値: 29,200人 実績値: 8,599人 =3,652人(左)+4,947人(右) ●利用者満足度 本年度実施した利用者アンケートの結果を現況値とし、次年度より評価を行う。 ●人口1人あたりの年間利用回数 目標値: 1回以上 実績値: 0.33回 ●利用者1人あたりの運行経費 目標値: 942円以下 実績値: 3,095円 ※顕著な高齢化の進展を考慮し高く設定した目標値であるが、常に前年度を上回る達成状況を目指す。	●利用目的で最も多い「通勤・通学」のニーズにこたえるため「定期券導入」を進める。 ●事業は広く知られているので、コミュニティバスへの愛着の醸成や地域との連携を図る事業(小学生乗り方教室、コミバスこども美術館など)を実施する。 ●未利用者を対象にした調査も実施し、公共交通のニーズの把握に努める。 ●利用者数の増加により運賃収入は増えると見込まれるが、それ以外の収入(広告収入や事業所協賛金)の確保にも努める。
	岐南町コミュニティバス(右回り)				

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 6 年 1 月 11 日

協議会名	岐南町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名	地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>町内では、民間路線バスの1路線が撤退するなど、公共交通ネットワークの確保維持が厳しい状況にあります。公共交通は地域にとって重要なインフラの一つであり、このような状況の中でも、買い物・通院、通勤・通学等の暮らしのニーズに対応した公共交通ネットワークを構築し、日常生活等に必要の移動手段を確保・維持していく必要があるため、地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)により、岐南町コミュニティバスを運行します。</p> <p>岐南町地域公共交通計画では『住み続けられるまちを目指して地域で育てる公共交通』を基本方針に掲げ、「多様なニーズに対応した公共交通ネットワークの構築」「公共交通の利用拡大」「持続可能な公共交通体系の実現」に向けて取り組んでいきます。</p>

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

岐南町地域公共交通計画の評価等結果（令和4年10月～令和5年9月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス年間利用者数： 29,200人(令和7年度) ・コミュニティタクシー年間利用者数： 1,700人(令和7年度) 	—	—	—	—	計画期間中の各年度の目標値は設定していないため、常に前年度を上回る達成状況を目指す。
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度： 現況値(令和5年度)から 10ポイント以上の増加 	—	—	—	—	
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス人口1人あたりの年間利用回数： 1回以上(令和7年度) ・コミュニティタクシー人口1人あたりの年間利用回数： 0.06回以上(令和7年度) 	—	—	—	—	
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス利用者 1人あたりの運行経費： 942円以下(令和7年度) ・コミュニティタクシー利用者 1人あたりの運行経費： 880円以下(令和7年度) 	—	—	—	—	

(記載に当たっての留意事項)

- ・ 本様式中、表題の「(○年○月～○年○月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「—」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して